

「大腿骨骨折観血的手術における術中鎮痛薬が術後アウトカムに与える影響」について

赤穂市民病院麻酔科では、現在、大腿骨骨折の観血的手術を受けられた患者さんを対象に、治療内容と術後の経過を検証する研究を実施しております。この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

現在、全身麻酔時の強力な鎮痛薬としてフェンタニルが広く使用されています。しかし、呼吸抑制や術後のせん妄のリスクが問題として挙げられるほか、近年では薬剤の使用に制限がかかることがあり、我々麻酔科医は多様な薬剤を使用した麻酔方法に習熟する必要があります。本研究では、全身麻酔時の鎮痛薬としては使用頻度は少ないながらも、当院では15年以上の使用経験のあるトラマドールを中心に大腿骨骨折観血的手術を受けられた患者さんの治療内容と術後の経過を検証します。

【研究期間】

この研究は、病院長承認日 ～ 2025年9月13日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

本研究の対象となるのは2021年4月1日から2024年3月31日までの期間に大腿骨骨折観血的手術受けられた患者さんです。疾患名、術後経過（症状、治療）、年齢、性別に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

【個人情報保護の方法】

本研究は、患者さんの診療記録から得られた情報のみを使用する「後ろ向き研究」と呼ばれるもので、患者さんに新たな診療や検査を強いるものではありません。研究に用いる情報は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：研究対象者には本研究による直接的な利益はありません。

不利益：後ろ向き研究であり、負担やリスクを増すものではありません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠

慮なくお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。

[情報の提供を行う機関の名称及び管理責任者の氏名]

研究代表者および研究責任者：森 大輔（赤穂市民病院 麻酔科）

[問い合わせ窓口]

研究課題への問い合わせ：赤穂市民病院 麻酔科

森 大輔 電話 0791-43-3222